

ProMED-mail情報 2018年6月版

ProMED-mail <http://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介します。FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <http://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
26日	流行性耳下腺炎 米国	去年3月からハワイ州で例年の100倍のおたふくかぜの大流行。オアフ島810例、ハワイ島134例で、州全体では1,000例の報告。最近流行が下火となり、本流行中、聴力障害を含む31例の合併症あり、死亡例はなし。
22日	レジオネラ症 フランス	人口770万人フランス第3の都市オーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプはレジオネラの発生率が高い。特に去年9月に40例以上の流行。今年6月12日までに114例の報告。
20日	鳥インフルエンザ(H7N9) 中国	H7N9はすでに1,600人以上の感染者を認め、623人の死者を出している。H7N9はヒトの間では広がることはなく、鳥との接触のあるものだけがかりうる。このウイルスは常に変異し、容易にそして持続的に蔓延させる能力を持っている。次のパンデミックになり得る恐れがある。
18日	原因不明の出血熱 ウガンダ	キリヤンドンゴ地方の女性住民1名が、6月10日病院入院直後に重篤な出血熱症状で死亡。ウイルス検査で、エボラ、マールブルグ、クリミアコンゴ出血熱、リフトバレー熱、ソスガウイルスは陰性。黄熱ウイルスは記述なし。
15日	サルモネラ感染症 米国	ケロッグ蜂蜜風味シリアルに関連するサルモネラ菌(Mbandaka型)感染が多段階的に発生。6月14日には31州、73名の感染者の報告がある。患者の年齢は1歳未満から87歳、全体の65%が女性。死亡例はなし。朝食シリアルによるサルモネラ中毒は珍しいが、以前にもあり、詳細は未だに解明されていない。
14日	腸管出血性大腸菌 米国	12人以上の子どもが東テネシー病院に、未殺菌牛乳が原因と考えられる腸管出血性大腸菌にて入院治療中であると、6月14日に発表があった。現在のところ、関連死はない。治療中の多くの子どもが未殺菌牛乳を飲んだ後より病気になったという保健省による調査報告があった。
10日	麻疹 アメリカ大陸	2017年の報告がベネズエラ727例、米国120例、カナダ45例、アルゼンチン3例の4カ国計895例。2018年6月2日までの報告はベネズエラ1,472例、ブラジル114例、米国84例、コロンビア26例等、11カ国の計1,685例。
6日	日本脳炎 台湾	台湾にて日本脳炎が2例報告があり、今年5例目であるとCDCが5月28日発表した。そのうちの3例は高雄市、他2例は嘉義市、屏東県。死亡率が20-30%の蚊媒介感染症である。そのため蚊の活動時である夜明けや夕暮れ時に感染地域や農場に行くことは避け、予防接種を当局は推奨。
5日	リーシュマニア症 パキスタン	北西トライバル地域の風土病である皮膚リーシュマニア罹患率は1万人中0.2人。今まで政府の感染症対策がなされていなかったが、今回モーマンド機関による治療予防キャンペーンが実施された。
4日	乳児ポツリヌス症 カナダ	2018年3州で6例の発症急増。食品検査でポツリヌス菌陰性。ハチミツ摂取なし。創部感染なし。土、埃中の芽胞の吸引による腸内感染と推定。
4日	サルモネラ感染症 ベルギー	ベルギー連邦フードチェーン安全庁の報告によると、フランダースの38の学校にてサルモネラが流行しており、サルモネラ疑いの学生が225人いる。現在汚染ルートは調査中であり、調査中は仕出し業者は業務再開はしない。
3日	クリミアコンゴ出血熱 イラン	イランにて2018年3月28日以降、クリミアコンゴ出血熱による死亡が10例報告されている。ダニ媒介により、通常春に流行する。最良の治療を受けたとしても患者の10%が死に直面することになる。毎年イランでは100~150例のクリミアコンゴ出血熱の報告がある。